

本院患者さんへの情報公開用文書

「画像検査とRNF213遺伝子検査の融合による閉塞性血管障害の新評価体系の確立」
SOARER（ソアラ）研究についてのご説明

はじめに

この研究の目的は、もやもや病を含めた閉塞性血管障害の発症および進行に関わる遺伝子や画像の所見を特定することです。発症と進行を正確に予測できるようになれば、適切な時期に検査や治療を行って、症状の進行を抑えることができるようになりますと期待されます。

研究対象

当院脳神経外科で、もやもや病の方50名、もやもや病以外の血管障害の方50名、脳血管障害のない方50名程度に参加いただくことを目標としています。

研究内容

血液や組織からDNAを取り出し、病気の発症や進行に関わる遺伝因子を特定します。また、画像を含めた臨床情報を用いて、遺伝子との関連を調べます。血液は、通常の採血時に最大14cc程度追加で採取させていただきます。手術を受けられた方は、その際に採取された血管壁や髄液などの組織を使わせていただくことがあります。血管障害のある方とない方のデータを比較して、遺伝因子や画像所見の違いを解析します。

患者さんの個人情報の管理について

血液などの検体は、匿名化されたまま厳重に保存され、原則として本研究のために使用されます。もし同意いただければ、将来の研究のための貴重な資源として、研究終了後も保管させていただきます。

研究期間

（病院長承認日）から 平成35年12月31日まで

医学上の貢献

この研究の目的は、もやもや病を含めた閉塞性血管障害の発症および進行に関わる遺伝子や画像の所見を特定することです。発症と進行を正確に予測できるようになれば、適切な時期に検査や治療を行って、症状の進行を抑えることができるようになりますと期待されます。

問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院脳神経外科

本院研究責任者 三國 信啓

同研究分担者 三上 毅

【平日 Tel(011)611-2111 内線 33510 (教室) 休日・時間外 Tel (011)611-2111
内線 33580 (8階北病棟)】

共同研究施設

京都大学 医学部 脳神経外科

富山大学 医学部 脳神経外科

名古屋大学 医学部 脳神経外科

北海道大学 医学部 脳神経外科